



令和8年9月30日(水)  
静岡大学教育学部  
附属静岡小学校  
5年 学年便り 10月号

## ～後期へ～

秋分の日を境に、気温も空気も一気に秋模様へと早変わりしました。ふと地面をみると、緑から茶色に変化した落ち葉が広がっていたり、肌に当たる風が爽やかで透明感のある心地よいものに変化していたりと、「秋」が到来したことを実感しています。

9月から6年生のつどいの発表が始まっています。10月に行われる5年生のつどいに向け、はばたきの各学級でも話し合いや練習が行われています。体育館で全校を目の前にして行うつどい。クラスとしての発表の時間は20分程ですが、そこには「クラスで大切にしていることを全校に伝えたい」「学級のつどいの発表を通して、学校をもっとよりよくしていきたい」という子どもの思いが詰まっています。だからこそ「形が整った」つどいを目指すのではなく、学級の子どもの手で、この子どもにしかできないつどいを目指していく。そのプロセスにこそ価値を見出し、支えていきたいと思えます。もしかしたら演劇として整っていないと感じるかもしれませんが、しかし、たとえそうだとした場合、子どもが自身で考え、創り出すことに意味があります。自分たちで創り出すつどいだからこそ、そのつどいにかかる思いは深く、それぞれの成長に還っていくはずで、今から5年生各クラスがどんなつどいを発表するか、とても楽しみです。

「一人ひとりがしっかりと意識をもつことで、それがはばたきという集団の成長につながる」9月29日から後期が始まりました。それに先立ち9月14日にはばたきの学年集会が行われました。上記の言葉はその学年集会で何人かの子どもが話してくれた内容です。学年集会は「今までの自分はどうかだったか?」「これからの自分はどうなりたいか?」など、自分や自分たちの学校生活をよりよくしていくために、それぞれが自身を振り返る時間となりました。

その学年集会ではこれから始まる後期に向けて、本部委員会の立候補についての説明も行われました。その後行われた、立候補者の素敵な演説の一部を紹介させていただきます。

- ・私は学校が安全な場所であってほしいと思っています。廊下を走る人をなくしたいです。
- ・校内で安全ポスターコンテストを企画したいです。そうすることでもっとみんなが意識できるはず。
- ・私は悩み事ボックスを作って、みんなが楽しく笑顔で過ごせる学校にしたい。
- ・笑顔がたくさんあふれる、楽しい学校にしていきたい。
- ・楽しく笑顔で過ごせるために、本部委員として様々な企画を考えていきたい。

これらの演説からは、自分一人の成長のほかにも、高学年として「よりよい附属小にしていきたい」という思いが伝わってきます。きっとどの子も今度は自分たちが学校を支えていく番だという意識が芽生え始めているはずです。集団をよりよくしていくために、仲間や下級生に働きかけていく。そうすることで、その子自身の成長にもつながるはずです。これから5年生の後期が始まり、委員会の委員長決めや6年生を送る会など学校全体に関わるが多くなります。「集団」を意識し始めたはばたきの子どもたちがより一層はばたいていけるよう支えていきます。これからも本校の教育活動へのご理解、ご協力よろしくお願いします。